

学校だより 5月号

平成30年5月1日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004

FAX 048 (547) 1467

URL

<http://koya-e.konosu.ed.jp>

e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成



小谷っ子の健やかな成長を願って ～1つ教えて7つ褒め、2つ叱って良い子に育てる～

校長 池澤 道弘

風薫る5月。校庭の芝生が鮮やかな緑色になり、何をするのにも気持ちの良い爽やかな季節がやってまいりました。

先日の授業参観・学校全体会・PTA総会・学級懇談会ではたくさんの保護者の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。また、ご多用の折にも拘わらず、PTA総会にご臨席いただいた、ご来賓の皆様にも御礼申し上げます。

5月は家庭訪問からスタートします。第2週には吹上地区のバスケットボール大会(6年生)と土曜授業・引き渡し訓練があります。また、26日の土曜日には運動会が予定されています。保護者の皆様には、いろいろとお世話になりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、先日のPTA総会で今年度の活動方針が示されましたが、「地域の方々に感謝し、学校行事に積極的に参加し、家庭教育を大切にする子育てを目指す」という方針は、素晴らしいと思いました。保護者の皆様の中には、本校に在籍しているお子さんが第一子という方もいらっしゃると思いますが、子育てをする上で、「良いところを褒めて伸ばす」ことは、非常に大切だと感じます。

以前、ある講演会で「褒め方、叱り方」のお話をお聞きする機会がありました。いろいろなお話があったのですが、私は「1つ教えて7つ褒め、2つ叱って良い子に育てる」という言葉が特に印象に残りました。この言葉の中には、子どもにかけべき声のバランスが絶妙に表現されていると思います。子どもは常に周囲の人からいろいろなことを学び取っていきます。特に親や先生など、身近な大人がかける声には敏感です。日々成長している子ども達に、適切な声かけをしてあげることで、その成長の道しるべを示し、歩みを後押ししてあげたいものです。

私のつたない教職経験の中で恐縮ですが、極めてシンプルに考えると、学校においても良い教師というのは、「褒めるべき時にきちんと褒めることができ、叱るべき時にきちんと叱ることができる教師」であると思っています。ただし、子どもによって違いは当然ありますから、その子の「良さ」を見出し、信念をもった褒め方、叱り方をしていくことが肝要だと思います。

とは言え、人の欠点はすぐ目につくのですが、人の長所を見つけるのはなかなか難しいことです。ましてや、他人ではなく身内となれば、尚更なのかもしれません。別の研修会で聞いたお話ですが、指導の名人と呼ばれる方は、どんな下手な者でも、どこか一点、自分に及ばないところを見つけることができるのだそうです。

子育てには「これが正解」というものはないと思います。時にはうまくいかなかったり、悩んだりすることもあるかもしれませんが、その子の「良さ」を見出し、認めていこうとする気持ちは、必ず伝わるものだと思います。

学校においても「1つ教えて7つ褒め、2つ叱って良い子に育てる」を心に留めて指導に当たっていきたいと思います。今後とも、学校・家庭・地域が一体となった教育活動が行えるよう、引き続きご理解、ご協力をお願いいたします。

